

地崎道路

# 宿泊体験で安心感提供

## 内定者に職場の雰囲気伝える

工業高校や大学の土木系学科が盛んな中、建設会社では生業めに苦慮しており、数ある企業の中から自社を選んでもらうための努力が欠かせない。そんな中、地崎道路本社・東京は、千歳市内の独身寮で、こころ春に入社する内定者対象に宿泊体験を実施した。安心して入社してもらうことが目的で、合わせて行った会社見学会には内定者の家族にも参加してもらった。北海道支店の橋本世紀管理部長は「学生確保に向けた企業間の競争は激しい。こうした取り組みを通して会社を知ってもらい、人材確保につなげたい」と話している。

### 人材確保へ取り組み周知

宿泊体験・会社見学会は、昨年完成した千歳営業所の営業所棟と社員食堂を兼ねる宿舎棟、独身寮棟で行った。内定者やその家族に不安なく入社してもらうため、内定者が実際に4月から入居する部屋を使ってもいい。同社としても初めて取り組みだ。



朝食体験では、まかないさんの愛情こもった料理を食べた

備わっており、朝昼晩の3食付き。このほか敷地には従業員専用の電気自動車やバイク、インハイブリッド車用の充電器も4台分設置し、自由に使うこともできるようにした。まさに、体一つで入居できる。この見学会は、2日目の会社見学会に、内定者の家族や札幌工高の教諭なども参加。参加者全員で事務所内や、同社が担当する新千歳空港の維持現場を見学したほか、社員食堂で食事。この行事は特に母親から好評で、「はながしっかりと食べられるところが良い。二入居に当たり、そろそろ出るものがないのが助かる。などの声が上がった。教諭たちからは職場環境が素晴らしいという意見をもらい、宿泊体験を担当した管理部の渡部綾係長は「この取り組みには内定者ご年の近い先輩社員にも協力してもらったし、職場の雰囲気の良さが伝わったと思う」と強調する。

同社は、数年間やめていた採用を2010年ごろから復活させ、以降、コンスタントに工業高校生を対象に採用活動を行っているが、これから就職を視野に入れる学生のほか、高専、大学などにも企業のアピールをしたいと考えた。

橋本部長は「採用活動をしていくと、やはり母親の意見が大きいと感じる。実際に入社して寮に入ると、なかなか家族が寮に来る機会もないので、今回のように親の意見を見てもうえるのは良い機会になる。職場環境や施設を整えることで他社との差別化を図りながら、人材確保につなげていきたい」と話す。同社は今後も宿泊体験の取り組みを継続することとしている。